

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	レンタサイクル事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車を、市民の利用に供することで、近距離移動の利便性を向上し、合わせて放置自転車の防止を図る。				
30年度概要	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：約1,250台				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市街地中心部における主要鉄道駅利用者 （JR高松駅、JR栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、琴電栗林公園駅）
意図（どのような状態にしたいか）	自転車利用者の利便性を向上させることで、近距離交通手段としての自転車利用を促進させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
レンタサイクルの利用可能日数	日		365	365	365	365

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）	台	目標値		3,810	3,800	3,790	3,000
		実績値		3,072	2,641		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 商店街クリーン作戦の実施など周知啓発を図るとともに、放置自転車の撤去を継続的に実施し、目標値を大幅に下回ることができた。		(目標達成度)					(達成度) 130.5%
							35点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 既存車輛の新デザイン化を図るなど、利用促進策を講じたが、瓦町駅及び高松駅を除く5箇所のサイクルポートの利用者数の減少により、目標値を若干下回った。		(目標達成度)					(達成度) 99.9%
							34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	68,233	72,947	71,894	76,921
（事業費）	[円]	58,253	64,232	63,472	68,499
（職員人件費）	[円]	9,980	8,715	8,422	8,422

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新デザイン化を図るなど、利用促進策を講じ利用人数の目標が達成されているが、収支比率は5割程度であり、利用促進や管理手法等の改善を図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
26年度に決定した新デザインを施した車両を順次増やすほか、利用促進や管理手法等の改善について検討し、33年度からの長期契約に反映する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	道路整備課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2516
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	自転車利用環境整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成20年11月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会、高松地区委員会、安全空間確保部会（国・県・市・県警・市で構成、以下「安全空間確保部会」）において策定した、高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に基づき、国・県・市警等と連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。				
30年度概要	自転車走行指導帯等の整備 五番町西宝線 八番町西浜新町線 計 L = 0.8 km				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：「自転車ネットワーク整備方針」に位置付けられている市道 対象者：自転車利用者
意図（どのような状態にしたいか）	自転車走行指導帯等を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度自転車道等整備延長	km		3.4	1.4	1.5	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
自転車道等整備済延長	km	目標値		9.2	9.6	11.1	11.1
		実績値		7.6	9.0		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 29年度には、八番町西浜新町線など、1.4km区間を供用したが、関係機関等との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することが出来なかった。		(目標達成度)					(達成度) 93.8% 32点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	18,063	94,175	47,323	121,244
（事業費）	[千円]	5,012	76,118	29,873	100,000
（職員人件費）	[千円]	13,051	18,057	17,450	21,244

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

八番町西浜新町線など3路線で自転車走行指導帯の整備を行った。今後は、自転車ネットワークの構築に向け、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」で国・県・警察等とのさらなる連携を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今度とも国・県と連携をしながら効率的な整備を進めるために、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」において、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」の見直し等について協議をしていく。